

まち&街

特定非営利活動法人（NPO法人）
鹿島田・新川崎まちづくりの会ニュースNo. 3
発行2020・12/10
連絡先080-1225-6411 佐藤

初企画「鹿島田の歴史と史跡を知る会」

二ヶ領用水解説図



日頃、住み慣れた街も、いろいろ調べてみると意外と新しい発見があるものです。

この四月にNPO法人となった「鹿島田・新川崎まちづくりの会」は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて、活動がストップしていましたが、活動再開の始めとして、まず、我が町「鹿島田」の史跡巡りから歴史を探ろうと、11月12日（木）に7名の参加で行いました。

400年以上前に作られた二ヶ領用水、赤穂浪士ゆかりの銚子塚、鹿島田の氏神様「鹿島大神、徳川幕府から8石のご朱印をもらい、鹿島田村を潤した浄蓮寺などを散策し、先人達の想いに心を寄せた一日となりました。今後、近隣の町を定期的に散策して行きたいと考えています。ぜひみなさんもその節はご参加下さい。

「よく氾濫し、家の前が水浸しに何度もなったものだよ。」との話にビックリ。鹿島田で町田堀と大師堀の二つに分かれ、大半が暗渠になり、完全に埋め立てられているところもあるという。今は昔の話！

つぎにそばを通ることはあっても、境内に入ったのは初めての浄蓮寺。徳川幕府から8石のご朱印をもらう由緒ある寺院であることを知りました。朝夕6時に鐘の音が地域に響き渡ることは何とも言えない趣があります。

他にも散歩で道祖神らしきものがあったり、詳しく訪ねたいものだと思っています。次の企画を楽しみにしています。（参加者Y）

鹿島田の史跡巡りに参加して

散歩で何回か歩いている二ヶ領用水路。路肩に地域の人たちが世話をしている季節の花々が、通る人たちの目を楽しませてくれています。水面にはカモが泳いでいたり他の鳥の鳴き声も聞こえ、季節毎に新しい発見があり、お気に入りの散歩コースです
今回は、長年鹿島田に住んでいる方の説明を聞きながら歩きました。

二ヶ領用水は我が国初めての「工業用水」としても作られたとのこと。また昔は

開かずの踏切！ 今後十数年から20有余年！ 鹿島田踏切問題！ このままで良いのでしょうか！

先日のことです。（12月4日の朝）

朝、踏切を利用。丁度8時7分発川崎駅行きが来る。8時5分には遮断機降り始める。

それから、なんと上下10本の列車が同時または、ほんの少々の時差で鹿島田駅に入線し、その間遮断機は下がりっぱなし。踏切が開いたのは8時33分頃。なんと30分近く閉まりっぱなしだったのです。ずっと見ていました。

自転車通学の高校生は、鹿島田駅の階段を自転車を担いで移動、中には来た道を反対方向へ引き返す高校生も。保育園通いのママさんは半分あきれ顔。

ここ何回か、同じ時間帯にぶつかりました。その度に15分から20数分閉まったまま。

今回の30数分はひどすぎです。こんなことが今後十数年から二十数年続くのでしょうか。上り電車がホームに着く前から遮断機を下ろし、停車・乗り換えして発車し、踏切通過するまで遮断するやり方がそもそも「開かず」の原因です。発車寸前に遮断する方法に切り替えれば、少しは改善するはずです。

新川崎駅にも休めるイスが欲しい！

要望が強かった駅構内にちょっとした休めるイスの設置について

◆鹿島田駅に10月15日、待望のベンチが私たちの要求に川崎市も応え、設置されました。（ニュースNo. 2で既報）
川崎市に感謝！！

◆新川崎駅は、構内がJRの所有地であり、市側は、JRが認可すれば設置は可能であるとの回答を受け、11月25日に新川崎駅に「会」として訪ねました。対応した職員によれば、ベンチの設置は駅としても考えているが、「本日は管理者が不在のため要望は伝えます。後日回答します」とのことでした。併せて、新川崎駅前タクシー乗り場については現在UDタクシー2台が乗り入れできるようになっているが、JRの敷地内であることもあり、一般タクシーの乗り入れを可能にするために、JR側との交渉も必要になってくると考えています。



この年になると人を待っている間、立っているのがつらくなってきたので、イスがあると本当に助かっていますよ。（利用者83才）

新川崎駅前タクシー乗り場見学から

（交通広場のタクシー運転手の話）
上（新川崎駅）に客を取られて、ここでお客さんを待つんだけど1～2時間も待つことが多く、困っているよ。

荷物があつたり、足や腰が痛いとき下の交通広場まで行くのが大変なので、何とかありませんかねえ。
（60代の女性）